コラボレーション エンドポイント ソフトウェアCE8.0
11 月 2015

スタートアップ ガイド

MX および SX シリーズ向け

Copyright © 2015 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

シスコ製品をお選びいただきありがとうございます。

お使いのシスコ製品は、長年にわたり安全かつ信頼できる操作を行えるよう設計されています。

製品マニュアルのこの部分は、コラボレーション エンドポイント ソフトウェアを実行する Cisco TelePresence 製品を設定する管理者を対象としています。

主な目的は、ユーザの目標とニーズに対応することです。このガイドについてのご意見、ご感想をお聞かせください。

定期的にシスコの Web サイトにアクセスし、このガイドの最新版を入手してください。

ユーザ ドキュメンテーションは次の URL から入手できます。
▸ http://www.cisco.com/go/telepresence/docs。

本ガイドの使用方法

本書上部のメニュー バーと目次の各項目には、ハイパーリンクが設定されています。クリックすると、そのトピックに移動します。

目次

はじめに 3
- このマニュアルについて 4
- システムの設定方法 5

ユーザ インターフェイス 6
- Web インターフェイス 7
- TRC6 リモコン 8
- リモート コントロールを使用したときの画面メニュー 9
- タッチ コントローラ 10
- タッチ コントローラの [設定 (Settings)] メニュー 11

設定:Web インターフェイス 12
- Web インターフェイス 13
- プロビジョニング設定 14
- IP の設定 (IP settings) 15
- H.323 および SIP の設定 16
- 日時と場所 17
- パスフレーズ (Passphrase) 18

設定: 画面上のセットアップ アシスタント 19
- リモート コントロールを使用する場合の 画面上のセットアップ アシスタント 20
- IP の設定 (IP settings) 21
- プロビジョニング 22

設定:タッチ コントローラ 24
- タッチ コントローラ 25
- プロビジョニング設定 26
- IP 設定 27
- H.323 および SIP の設定 28
- 日時と場所 29

付録 30
- Cisco VCS プロビジョニング 31
- シスコ Web サイト内のユーザ ドキュメント 32

Copyright © 2015 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

第 1 章
はじめに

Copyright © 2015 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

このマニュアルについて

このドキュメントでは、ビデオ会議システムの基本設定について検討します。

お使いの製品のインストール ガイドで、システム アセンブリとインストールに関する情報を得ることができます。

このガイドで説明する Cisco TelePresence エンドポイント

- MX シリーズ:
  - MX200 G2
  - MX300 G2
  - MX700
  - MX800
- SX シリーズ:
  - SX10 Quick Set
  - SX20 Quick Set
  - SX80 コーデック

ユーザ ドキュメント

下記のシスコの Web サイトから、ユーザ ドキュメントをダウンロードできます。▸ http://www.cisco.com/go/telepresence/docs

シスコの Web サイトでのドキュメントの検索方法については、付録の ▸「シスコ Web サイト内のユーザ ドキュメント」を参照してください。

[ソフトウェア(Software)]

製品のソフトウェアは、次のシスコの Web サイトからダウンロードできます。▸ http://www.cisco.com/cisco/software/navigator.html

シスコのお問い合わせ先

シスコの Web サイトでは、シスコの世界各地のお問い合わせ先を確認できます。

URL: ▸ http://www.cisco.com/web/siteassets/contacts

Copyright © 2015 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

システムの設定方法

プロビジョニング システムを使用するか、各ビデオ システムを個別に設定する

プロビジョニングにより、ビデオ会議のネットワーク管理者は複数のビデオ システムを同時に管理することができます。通常は、各ビデオ システムにプロビジョニング サーバの資格情報を入力するだけで、残りの設定が自動的に行われます。

プロビジョニング システムがない場合は、各ビデオ システムを個別に設定する必要があります。コールを発信するためには、ネットワークから提供されない場合は IP を設定し、また SIP/H.323 パラメータを設定する必要があります。また、正しい日時を設定する必要があります。

このガイドでは、プロビジョニング システムを使用する場合と使用しない場合の基本設定について説明します。

ユーザ インターフェイス

Cisco TelePresence ビデオ会議システムの主な操作デバイスはリモート コントロールまたはタッチ コントローラです。リモート コントロールは、MX シリーズまたは SX80 では使用できません。

システムがすでにネットワークに接続され、IP アドレスが分かっている場合、Web インターフェイスを使用してシステムを設定できます。設定のいくつかは、タッチ コントローラまたは画面メニューから利用可能です。

次の章では、Web インターフェイス、画面上のセットアップ アシスタントおよびタッチ コントローラの機能を説明します。

パスフレーズ（Passphrase）

最初、パスフレーズはデフォルトの admin ユーザに対して設定されていません。システム設定へのアクセスを制限するためには、管理者権限を持つユーザのパスフレーズを設定する必要があります。これにはデフォルトの admin ユーザが含まれます。

パスフレーズ設定の詳細については、セクション「「パスフレーズ（Passphrase）」、18 ページ」を参照してください。

Copyright © 2015 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

第 2 章

ユーザ インターフェイス

Copyright © 2015 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

Web インターフェイス

Web ブラウザのアドレス バーにシステムの IP アドレスを入力して Web インターフェイスにアクセスし、サインインします。ビデオ会議システムで提供されるデフォルトのユーザ アカウントは、ユーザ名が *admin* で、パスフレーズは設定されていません。

推奨ブラウザ：最新版の Internet Explorer、Mozilla Firefox、Opera、Chrome、Safari。

製品の管理者ガイドでは、Web インターフェイスがどのように構成されているかや、アクセスできる設定の詳細について説明しています。

[システム設定（System Configuration）] ページ

サインインすると、[設定（Configuration）] メニューから [システム設定（System Configuration）] ページを開くことができます。

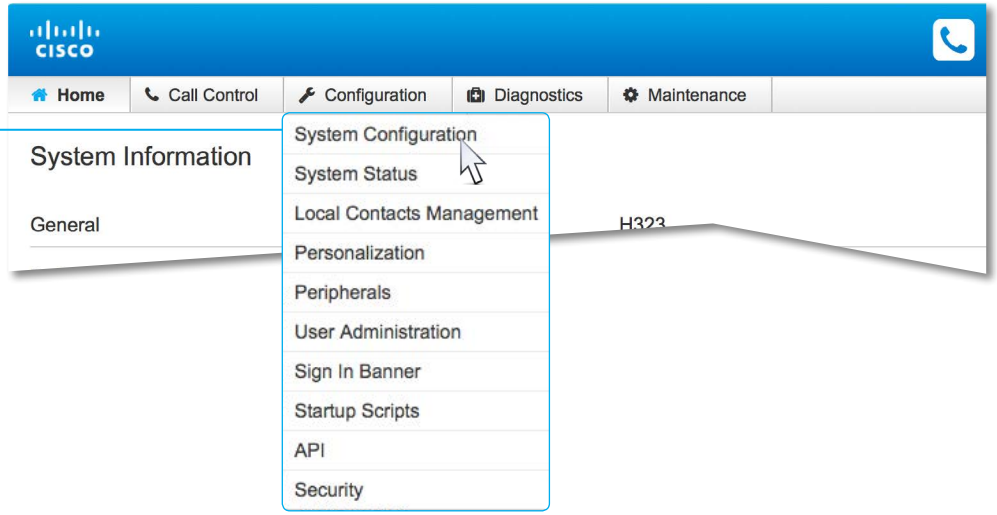
このページからすべての構成時の設定にアクセスできます。次の章で説明する設定はここにあります。

システムの設定を制御するには、[システム ステータス（System Status）] セクションを参照してください。[設定（Configuration）] メニューの下にあります。

▸ 13 ページの、Web インターフェイスでシステムを設定する方法をお読みください。

[設定（Configuration）] サブメニュー

[設定（Configuration）] メニューから [システム設定（System Configuration）] ページを開くことができます



Copyright © 2015 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

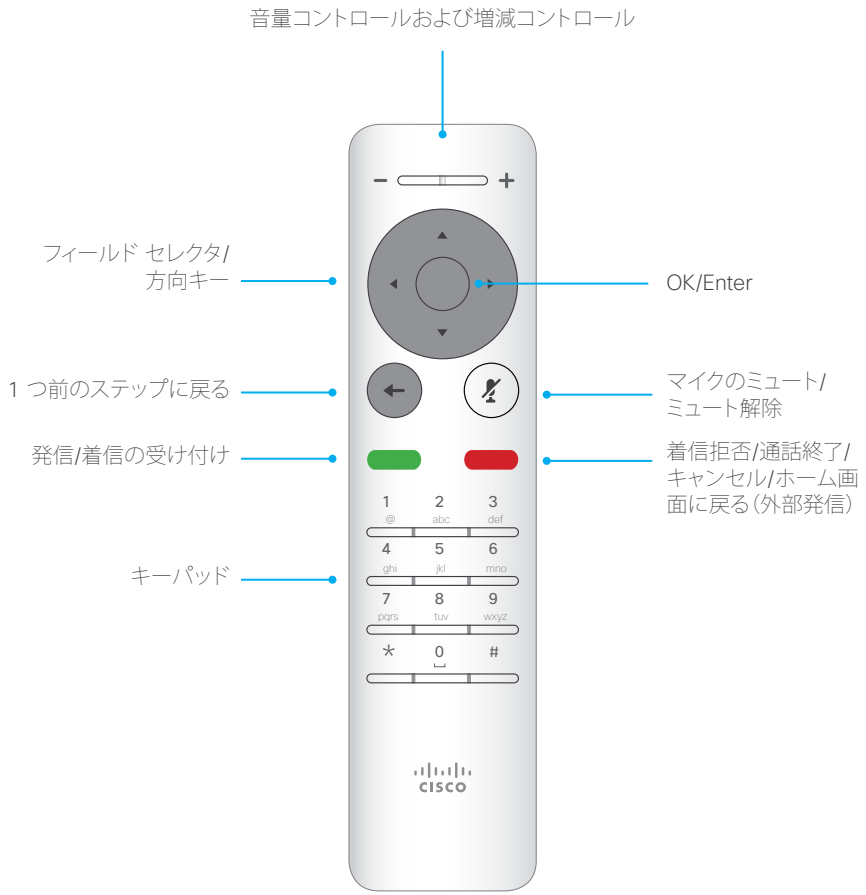
TRC6 リモコン

リモート コントロールを手に取ると、システムが起動します。

画面の中を移動するには、*方向キー*を使用します。選択したメニュー フィールドを開くには、*OK/Enter* を押します。

変更を実行せずにメニューを終了するには、キャンセル キーを使用します（[ホーム（Home）] 画面に戻ります）。*戻る*キーを使用して 1 つ前のステップに戻ります。

リモート コントロールに使用可能なバッテリ（AAA バッテリ 2 つ）が入っていることを確認します。

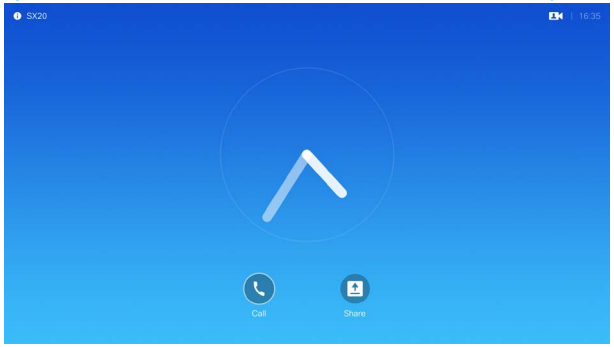


Copyright © 2015 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

リモート コントロールを使用したときの画面メニュー

- サイレント
- システム情報 (System Information)
- Standby

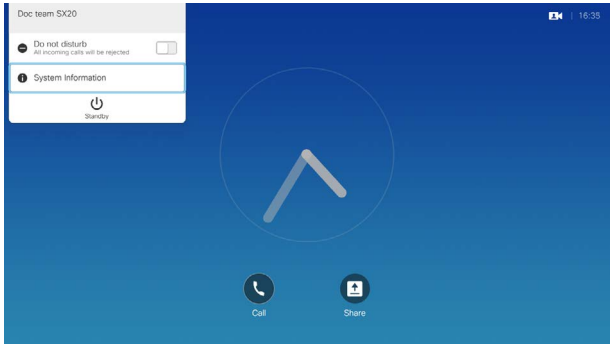
カメラ操作



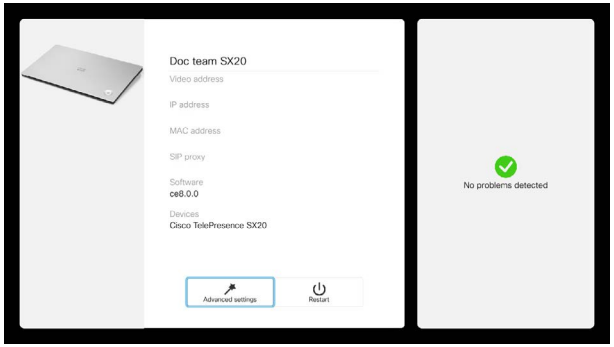
コールを発信する　コンテンツを共有する

システムを初めて起動するときには、セットアップ アシスタントが自動的に起動します。

▸ 20 ページの、画面上のセットアップ アシスタントを使用してシステムを設定する方法をお読みください。



[詳細設定 (Advanced Settings)] メニューにアクセスするには、カーソルを画面の左上隅に移動させ、リモート コントロールの *OK* を押します。次に下にある [システム情報 (System Information)] に移動し、再度 *OK* を押します。



[システム情報 (System Information)] メニューには、基本的なシステム情報が表示されます。また、[詳細設定 (Advanced Settings)] への移動や、システムの再起動が可能です。これらの設定は Web インターフェイスから設定できる暗証番号で保護できます。

[詳細設定 (Advanced Settings)] では、次を設定できます。

- [言語 (Language)]: ユーザ インターフェイスの言語を選択します。
- [ネットワーク接続 (Network Connection)]: 自動プロビジョニングまたはネットワークによって設定されていない場合は、IPv4 設定を変更します。
- [システム アクティベーション (System Activation)]: 自動プロビジョニングに設定されていない場合は、プロビジョニング設定を変更します。
- [サウンド テスト (Sound Test)]: 音声の品質をテストします。
- [マイク チェック (Microphone Check)]: マイクが動作していることを確認します。外部マイクを使用している場合、このテストを使用して位置を調整します。
- [システム音量 (System volume)]: 着信音とコールのデフォルト音量を設定します。テスト音声が聞こえない場合、モニタの音量がオンになっていることと、ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
- [既定のカメラ プリセット (Default camera preset)]: 将来のコール用に、デフォルトのカメラの位置を設定します。
- [プレゼンテーション (Presentation)]: コンピュータから、プレゼンテーションのテストをします。これには追加の HDMI または VGA ケーブルが必要です。

Copyright © 2015 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

タッチ コントローラ

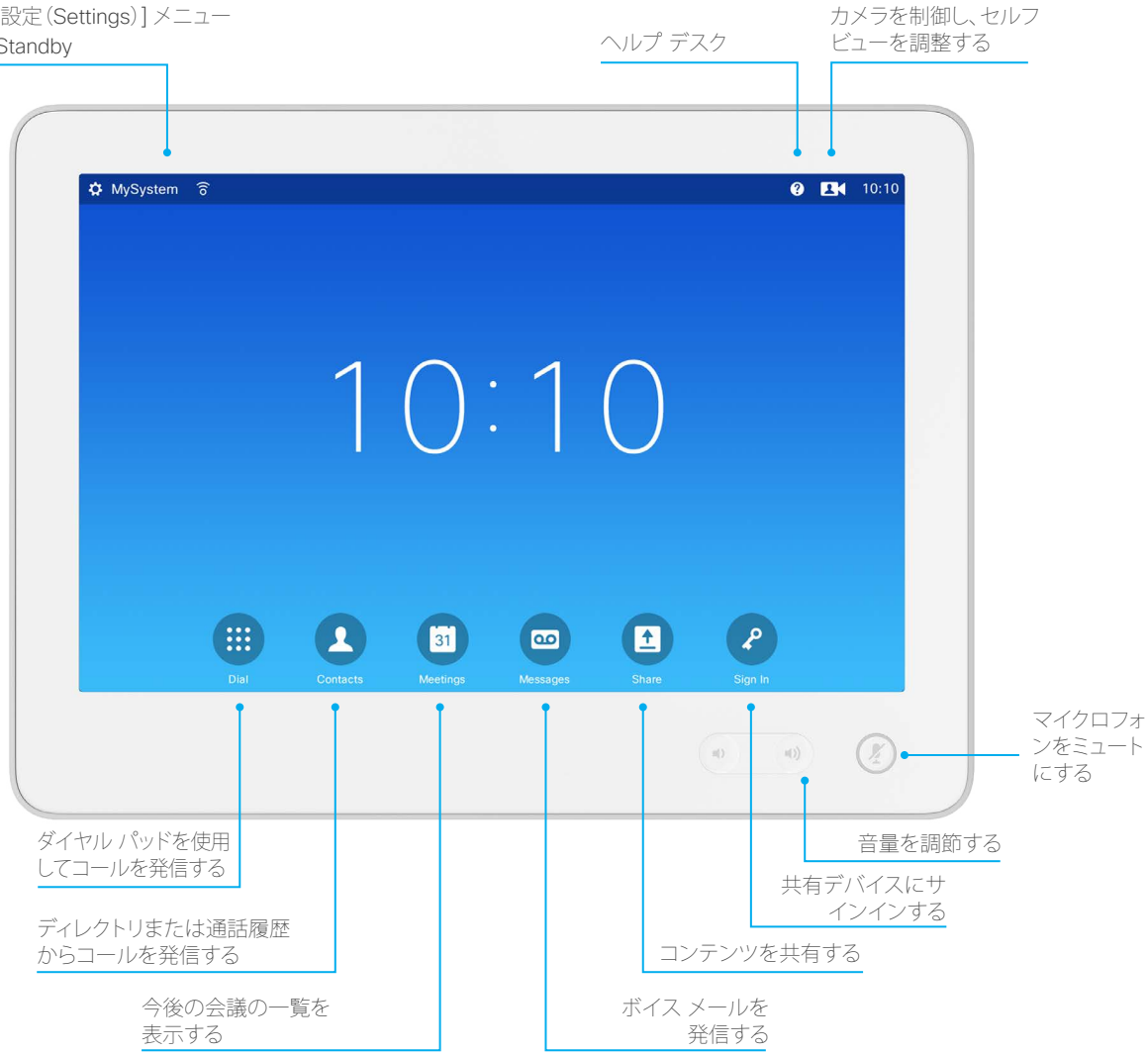
システムを初めて起動するときには、セットアップ アシスタントが自動的に起動します。

タッチ コントローラと使用方法の詳細については、お使いのビデオ会議システムのユーザ ガイドを参照してください。

すべての設定がどの製品でも使用できるわけではありません。以下に示されているタッチ ボタンがお使いのシステムにあるとは限りません。

ここには次のものがあります。

- プロキシミティ
- サイレント
- [設定 (Settings)] メニュー
- Standby



Copyright © 2015 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

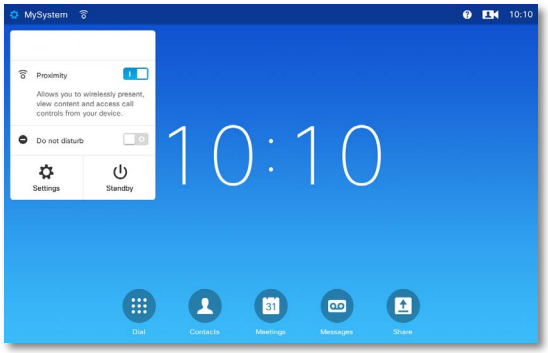
タッチ コントローラの [設定 (Settings)] メニュー

[設定 (Settings)] メニューを開くには、左上隅のシステム名またはユーザ名をタップして、[設定 (Settings)] をタップします。

システム設定

[管理者設定 (Administrator Settings)] メニューに移動するには、[管理者 (Administrator)] をタップし、[ユーザ名 (Username)] および [パスフレーズ (Passphrase)] を入力し、ログインします。入力フィールドをタップすると、ソフト キーボードが表示されます。[管理者設定 (Admin Settings)] をタップします。[管理者設定 (Administrator Settings)] メニューは、システム パスフレーズで保護されます。

▸ 25 ページの、タッチ コントローラでシステムを設定する方法をお読みください。



すべての設定がどの製品でも使用できるわけではありません。右側に示されているメニュー項目がお使いのシステムにあるとは限りません。

必要に応じて、設定へのユーザのアクセスを制限できます。これは、Web インターフェイスで実行できます。[設定 (Configuration)] >[システム設定 (System Configuration)] > [ユーザ インターフェイス (User Interface)] に移動し、[ユーザ設定 (User Preferences)] を [オフ (Off)] に設定します。この制限によって、ユーザは [システム情報 (System Information)]、[コール ステータス (Call Status)]、[診断 (Diagnostics)] および [再起動 (Restart)] のみを利用できるようになります。

ビデオ会議システムのユーザ ガイドで、タッチ コントローラ メニューの詳細な説明を参照してください。

[設定 (Settings)] メニュー

- [着信音とサウンド (Ringtone & Sound)]: 着信音、着信音のボリュームおよびキー トーンを選択します。
- [カメラ操作 (Camera Control)]: ホワイト バランス、露出や逆光補正を設定します。
- [メイン ソースの選択 (Main Source Selection)]: メインの入力ソース、たとえばカメラ操作を選択します。
- [表示 (Display)]: メイン ビデオ画面の明るさ、ホワイト バランス、DVI モードを選択します。
- [言語 (Language)]: ユーザ インターフェイスの言語を選択します。
- [システム情報 (System Information)]: システム設定の概要です。
- [コール ステータス (Call Status)]: コール時のコール パラメータの概要です (プロトコル、送受信速度、パケット ロスなど)。
- [診断 (Diagnostics)]: 付加的なシステムのロギングをオンにします。
- [再起動 (Restart)]: システムを再起動します。
- [管理者 (Administrator)]: 次を参照してください。

[管理者設定 (Administrator Settings)] メニュー

- [トラッキング (Tracking)]: SpeakerTrack 60 カメラを使用している場合、トラッキング スピードを選択し、snap-to-whiteboard 機能を設定します。
- [日時と場所 (Date, Time & Location)]: 日時を設定します。
- [コールの詳細 (Call Details)]: デフォルトのコール レートや自動応答を設定します。
- [プロビジョニング (Provisioning)]: プロビジョニング ウィザードを開始します。
- [ペアリング (Pairing)]: タッチがペアリングされているエンドポイントに関する情報を参照し、そのエンドポイントからペアリングを解除します。
- [IP と VLAN (IP & VLAN)]: IP と VLAN を設定します。タッチ コントローラが LAN を介して接続されている場合、コーデックとタッチのそれぞれのエントリがあります。
- [ネットワーク ステータス - コーデック (Network Status - Codec)]: コーデックの現在のネットワーク ステータス。
- [ネットワーク ステータス - タッチ (Network Status - Touch)]: タッチ コントローラの現在のネットワーク ステータス。
- [SIP]: SIP を設定します。
- [H323]: H.323 を設定します。
- [セキュリティ (Security)]: どの証明書がシステムにインストールされているかを確認します。
- [EMC レジリエンス (EMC Resilience)]: 電磁雑音に対するタッチ コントローラの耐性を変更します。
- [リセット (Reset)]: 工場出荷時設定へのリセットを実行します。これにより、すべての設定がリセットされます。工場出荷時へのリセットは元に戻せません。

Copyright © 2015 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

第 3 章

設定：Web インターフェイス

Copyright © 2015 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

Web インターフェイス

システムの IP アドレスが分かるまで、タッチ コントローラまたはリモート コントロールを使用して設定する必要があります。

この章で説明されている設定は、タッチ コントローラの [管理者 (Administrator)] 設定にもあります。このページにアクセスするには、管理者パスフレーズを入力する必要があります。

IP アドレスの確認

タッチ コントローラをお持ちの場合、左上隅にある歯車をタップして [設定 (Settings)] をタップします。[システム情報 (System Information)] セクションで、IPv4 アドレスおよび/または IPv6 アドレスを確認できます。

TRC6 リモート コントロールをお持ちの場合、ホーム画面の左上隅に移動し、さらに [システム情報 (System Information)] に移動します。

Web インターフェイスへのサインイン

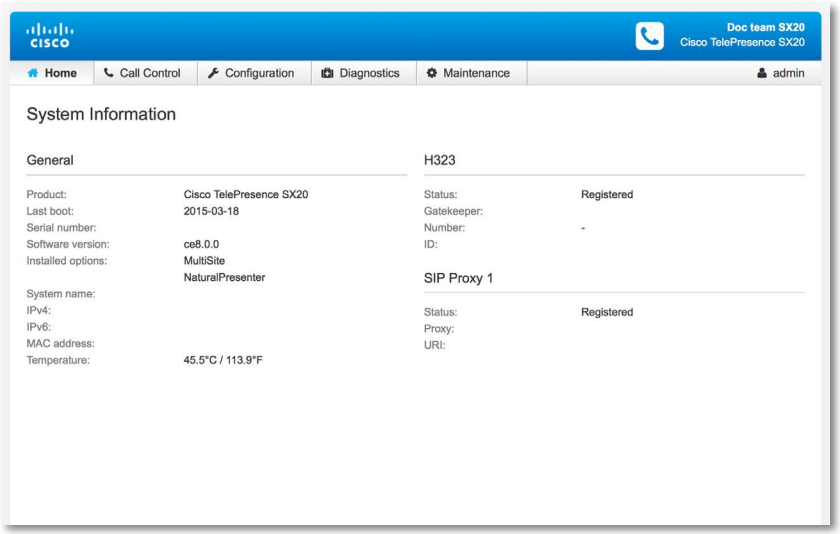
1. Web ブラウザを開き、アドレス バーにシステムの IP アドレスを入力します。
2. ユーザ名とパスフレーズを入力し、[サインイン (Sign In)] をクリックします。

デフォルトのユーザ名は *admin* で、パスフレーズは設定されていません。

システムに接続できない場合

- システムとコンピュータが同じネットワークに接続されているか確認してください。
- システムのスイッチがオンになっているか確認してください。

システムのスイッチをオンにしたら、システムが起動するまで数分お待ちください。



Copyright © 2015 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

プロビジョニング設定

（プロビジョニング システムの使用時）

以下のパラメータについてご不明な点がある場合は、プロビジョニング システム プロバイダーにお問い合わせください。

個々のプロビジョニング設定の詳細については、製品の管理者ガイドを参照してください。

プロビジョニング インフラストラクチャの選択

1. [設定（Configuration）] タブに移動し、[システム設定（System Configuration）] をクリックします。
2. 左カラムから [プロビジョニング（Provisioning）] 設定を開きます。
3. [モード（Mode）] ドロップダウン リストからプロビジョニング インフラストラクチャを選択します。
   - [TMS] – Cisco TelePresence 管理システム（SX10 では利用できません）
   - [VCS] - Cisco Video Communication Server
   - [CUCM] –Cisco Unified Communications Manager
   - [自動（Auto）] - システムはプロビジョニングを開始する際、VCS、TMS、CUCM の順に試します。
   - [エッジ（Edge）] - Expressway 経由の CUCM

[オフ（Off）] を選択する場合、すべて手動で設定する必要があります。

値の設定を変更する場合、
変更を確定するには [保存（save）] をクリックする必要があります。

必要なプロビジョニング パラメータの設定

どのパラメータを設定するかは、どのインフラストラクチャを選択するかによって異なります。

TMS

1. Cisco TMS でビデオ システムを認証することが必要になる場合があります。その場合、それぞれの入力フィールドに [ログイン名（LoginName）] と [パスワード（Password）] を入力します。
2. Cisco TMS サーバの IP アドレスまたは DNS 名を、見出し [ExternalManager] にある [アドレス（Address）] 入力フィールドに入力します。*
3. プロビジョニング サービスへのパスを、該当する入力フィールドに入力します。

VCS

1. Cisco VCS でビデオ システムを認証することが必要になる場合があります。その場合、それぞれの入力フィールドに [ログイン名（LoginName）] と [パスワード（Password）] を入力します。
2. Cisco VCS の IP アドレスまたは DNS 名を、見出し [ExternalManager] にある [アドレス（Address）] 入力フィールドに入力します。*
3. Cisco VCS の SIP [ドメイン（Domain）] を、該当する入力フィールドに入力します。

VCS プロビジョニングの詳細については、付録▶「Cisco VCS プロビジョニング」を参照してください。

Unified Communications Manager

CUCM プロビジョニング サーバの IP アドレスまたは DNS 名を、見出し [ExternalManager] にある [アドレス（Address）] 入力フィールドに入力します。*

CUCM プロビジョニングの設定の詳細については、▶『Administering CE endpoints on CUCM』ガイドを参照してください。

Expressway 経由の CUCM

Expressway 経由の CUCM サービスに申し込むと、ユーザ名、パスワード、およびドメイン名が送信されます。

1. [ログイン名（LoginName）] 入力フィールドにユーザ名を入力します。
2. [パスワード（Password）] 入力フィールドにパスワードを入力します。
3. 見出し [ExternalManager] にある [ドメイン（Domain）] 入力フィールドにドメイン名を入力します。

場合によっては、手動で Expressway アドレスを入力する必要があります。申し込み時に受け取ったアドレスを、見出し [ExternalManager] にある [アドレス（Address）] 入力フィールドに入力します。

* DHCP サーバが外部マネージャのアドレスを自動で提供するように設定できます（TMS はオプション 242、UCM はオプション 150）。ここで設定を入力すると、DHCP から提供された設定が上書きされます。

Copyright © 2015 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

IP の設定(IP settings)

(プロビジョニング システムによって設定されない場合)

ビデオ会議システムは IP バージョン 4(IPv4)、IP バージョン 6(IPv6)およびデュアル(デフォルト)をサポートします。いずれの場合でも、IP パラメータをネットワークから自動的に割り当てることも、すべて手動で設定することもできます。デュアルに設定すると、ネットワーク インターフェイスは両方の IP バージョンで動作することができ、また、IPv4 アドレスと IPv6 アドレスの両方を持つことができます。

パラメータを手動で設定する場合は、ネットワーク管理者に連絡し、必要なパラメータを取得してください。

デュアル モードを使用中に手動で IP 設定を行う場合、IPv4 と IPv6 の両方を設定する必要があります。その場合は手順のステップ 2 から開始します。

システムが自動的にプロビジョニングされる場合、これらの IP 設定はプロビジョニング システムによって上書きされることがあります。

IPv4 または IPv6 アドレスがすでにシステムに割り当てられている場合、[システム情報(System Information)] ページで確認できます。[設定(Configuration)] タブに移動して、[システム ステータス(System Status)] と [ネットワーク(Network)] を選択します。

注:Web インターフェイスを使用して、またはリモートでペアリングされたタッチ コントローラを使用して手動で IP アドレスを変更することは推奨されません。

値の設定を変更する場合、
変更を確定するには [保存(save)] をクリックする必要があります。

IPv4 設定の設定または変更

[設定(Configuration)] タブに移動し、[システム設定(System Configuration)] をクリックします。

1. **IP バージョンの選択**
   左サイドバーで、[ネットワーク(Network)] 設定をクリックします。[IPStack] ドロップダウン リストから [IPv4] を選択します。
2. **IP 取得方法の自動/手動の選択**
   [IPv4] セクションまでページをスクロールし、自動で IP を割り当てる場合は [割り当て(Assignment)] ドロップダウン リストから [DHCP] を選択します。手動で IP アドレスを設定する場合は [静的(Static)] を選択します。
3. **手動で IP を割り当てる場合**
   [IPv4] セクションで、該当する入力フィールドに [アドレス(Address)]、[ゲートウェイ(Gateway)] および [サブネットマスク(SubnetMask)] を入力します。
   [DNS] セクションまで上にスクロールし、[サーバ 1 アドレス(Server 1 Address)] 入力フィールドに DNS サーバ アドレスを入力します。

* [IP 取得方法(IP Assignment)]:
[DHCPv6]:DNS や NTP サーバ アドレスなどのオプションを含むすべての IPv6 アドレスは、DHCPv6 サーバから自動的に取得されます。
[自動設定(Autoconf)]:システムおよびゲートウェイの IP アドレスは自動的に割り当てられます。NTP と DNS サーバのアドレスなどのオプションは、[DHCP オプション(DHCP Options)] 設定に応じて設定するか、割り当てる必要があります。**
[静的(Static)]:システムおよびゲートウェイの IP アドレスは手動で設定する必要があります。NTP と DNS サーバのアドレスなどのオプションは、[DHCP オプション(DHCP Options)] 設定に応じて設定するか、割り当てる必要があります。**

IPv6 設定の設定または変更

[設定(Configuration)] タブに移動し、[システム設定(System Configuration)] をクリックします。

1. **IP バージョンの選択**
   左サイドバーで、[ネットワーク(Network)] 設定をクリックします。[IPStack] ドロップダウン リストから [IPv6] を選択します。
2. **IP 取得方法の自動/手動の選択**
   [IPv6] セクションまでページを下にスクロールし、ネットワーク要件に応じて [割り当て(Assignment)] ドロップダウン リストから [DHCPv6]、[自動取得(Autoconf)] または [静的(Static)] を選択します。*
3. **[IP 取得方法(IP Assignment)] が [静的(Static)] の場合:IP アドレスの設定**
   [アドレス(Address)] 入力フィールドにシステムの IP アドレスを入力します。オプション:[ゲートウェイ(Gateway)] 入力フィールドにゲートウェイ アドレスを入力します。
4. **[IP 取得方法(IP Assignment)] が [静的(Static)] または [自動設定(Autoconf)] の場合:[DHCP オプション(DHCPOptions)]**
   ネットワーク要件に応じて、[DCHP オプション(DHCPOptions)] ドロップダウン リストから [オン(On)] または [オフ(Off)] を選択します。**
5. **[DHCP オプション(DCPOptions)] が [オフ(Off)] の場合:DNS および NTP の設定**
   [DNS] セクションまで上にスクロールし、[サーバ 1 アドレス(Server 1 Address)] 入力フィールドに DNS サーバ アドレスを入力します。
   左サイドバーで [ネットワーク サービス(NetworkServices)] 設定を開き、[NTP] セクションまで下にスクロールします。[アドレス(Address)] 入力フィールドに NTP サーバ アドレスを入力します。[モード(Mode)] を [自動(Auto)] に設定します。

** [DHCP オプション(DHCP Options)]:
[オン(On)]:DNS サーバや NTP サーバ アドレスなどの IP パラメータは、DHCPv6 サーバから自動的に取得されます。
[オフ(Off)]:DNS や NTP サーバ アドレスなどの IP パラメータは、手動で設定する必要があります。

Copyright © 2015 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

H.323 および SIP の設定

（プロビジョニング システムによって設定されない場合）

ネットワークに接続してコールを発着信するには、システムを適切に設定する必要があります。システムは、ビデオ通話で H.323 プロトコルまたは SIP プロトコルのいずれかを使用します。

システムを診断すると、H.323 または SIP の登録に関する問題がある場合はそのことが示されます。

他の H.323 または SIP の設定を変更するには、製品の管理者ガイドを参照してください。

Cisco TMS（Cisco TelePresence Management Suite）により管理されているネットワークの場合、Cisco TMS の管理者がネットワークに接続します。

Cisco UCM を使用する管理方法の詳細については、▸『Administering CE endpoints on CUCM』ガイドを参照してください。

注：H.323 は SX10 では利用できません。

値の設定を変更する場合、
変更を確定するには [保存（save）] をクリックする必要があります。

H.323

以下のパラメータについてご不明な点がある場合は、システム管理者またはサービス プロバイダーにお問い合わせください。

1. [設定（Configuration）] タブに移動し、[システム設定（System Configuration）] を選択します。
2. 左サイドバーから [H323] 設定を開きます。
3. 見出し [H323Alias] の下のそれぞれの入力フィールドに、E164 および ID 番号を入力します。
4. 該当する入力フィールドに [ゲートキーパー アドレス（Gatekeeper Address）] を入力します。
5. H.323 ゲートキーパーに認証が必要で、システムをゲートキーパーに対して認証させたい場合、小見出し [認証（Authentication）] に移動し、[モード（Mode）] ドロップダウン リストから [オン（On）] を選択します。次に該当する入力フィールドに [ログイン名（LoginName）] と [パスワード（Password）] を入力します。

   または、[モード（Mode）] ドロップダウン リストから [オフ（Off）] を選択します。

SIP

以下のパラメータについてご不明な点がある場合は、システム管理者またはサービス プロバイダーにお問い合わせください。

1. [設定（Configuration）] タブに移動し、[システム設定（System Configuration）] を選択します。
2. 左サイドバーから [SIP] 設定を開きます。
3. [URI] 入力フィールドに SIP URI を入力し、オプションで [表示名（DisplayName）] 入力フィールドに表示名を入力します。
4. [デフォルト トランスポート（DefaultTransport）] ドロップダウン リストから、使用したいトランスポート プロトコルを選択します。[自動（Auto）] を選択すると、システムは TIs、TCP、UDP の順に接続を試みます。
5. [タイプ（Type）] ドロップダウン リストからプロキシ タイプを選択します。デフォルト タイプは [標準（Standard）] です。CUCM への登録時には [Cisco] を使用できます。
6. 該当する入力フィールドに [プロキシ 1 アドレス（Proxy 1 Address）] を入力します。
7. SIP プロキシに認証が必要な場合、システムを認証するためにログイン名とパスワードを入力する必要があります。見出し [認証（Authentication）] に移動し、該当する入力フィールドに [ログイン名（LoginName）] と [パスワード（Password）] を入力します。

Copyright © 2015 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

日時と場所

(プロビジョニング システムによって設定されない場合)

ビデオ会議システムを設定する際には、日時が正しく設定されていることを確認することをお薦めします。これらの情報は、たとえばゲートキーパーなどのネットワーク要素に送信されるメッセージにタイム スタンプを追加するために使用されます。

1. [設定(Configuration)] タブに移動し、[システム設定(System Configuration)] を選択します。
   左カラムから [時間(Time)] 設定を開きます。
2. 使用したい日付形式を、[日付形式(DateFormat)] ドロップダウン リストから選択します。
3. 使用したい時間形式を、[時間形式(TimeFormat)] ドロップダウン リストから選択します。
4. [ゾーン(Zone)] ドロップダウン リストからタイム ゾーンを選択します。
5. 左サイドバーから [ネットワーク サービス(NetworkServices)] 設定を開きます。
6. [NTP] セクションで、[モード(Mode)] ドロップダウン リストから [自動(Auto)]、[手動(Manual)] または [オフ(Off)] を選択します。*
   a. [手動(Manual)] を選択する場合、[アドレス(Address)] 入力フィールドに NTP サーバ アドレスを入力します。
   b. [オフ(Off)] を選択する場合、タッチ コントローラ([設定(Settings)] > [管理者(Administrator)] > [日時と場所(Date, Time & Location)])またはコマンドライン インターフェイス(xCommand Time DateTime Set)を使用して日時を手動で入力する必要があります。
7. 時間の設定を確認するには、[設定(Configuration)] に移動し、[システム ステータス(System Status)] をクリックします。左サイドバーから [時間(Time)] ステータスを開きます。

値の設定を変更する場合、
変更を確定するには [保存(save)] をクリックする必要があります。

* [NTP モード(NTP mode)]:
[自動(Auto)]:時間は NTP サーバにより定期的に更新されます。NTP サーバ アドレスはネットワークから自動取得されます(DHCP)。
[手動(Manual)]:時間は NTP サーバにより定期的に更新されます。NTP サーバ アドレスを手動で入力する必要があります。
[オフ(Off)]:時間を手動で設定する必要があります。時刻は自動更新されません。

Copyright © 2015 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

パスフレーズ(Passphrase)

システムの Web インターフェイスやコマンドライン インターフェイスにサインインするには、ユーザ名とパスフレーズが必要です。また、タッチ コントローラの管理者設定および詳細設定にアクセスする場合にも、システムのパスフレーズが必要です。

ビデオ会議システムのデフォルトのユーザ アカウントは、ユーザ名が admin で、パスフレーズは設定されていません。このユーザにはシステムへのフル アクセス権があります。

注:最初、パスフレーズはデフォルトの admin ユーザに対して設定されていません。システム設定へのアクセスを制限するためには、管理者権限を持つユーザのパスフレーズを設定する必要があります。これにはデフォルトの admin ユーザが含まれます。

パスフレーズを設定するまで、システム パスフレーズが設定されていないという警告が画面に表示されます。

パスフレーズをメモし、安全な場所に保管してください。パスフレーズを忘れた場合は、ユニットを工場出荷時設定にリセットする必要があります。

システム/コーデック パスフレーズの設定

注:システム設定へのアクセスを制限するために、admin ユーザにパスワードを設定することを強く推奨します。

1. 右上隅のユーザ名をクリックし、[パスフレーズの変更(Change passphrase)] を選択します。
2. 該当する入力フィールドに [現在のパスフレーズ(Current passphrase)]、[新しいパスフレーズ(New passphrase)] を入力し、新しいパスフレーズを再入力します。
   パスフレーズの形式は、0 ～ 64 文字の文字列です。
   パスフレーズが現在設定されていなければ、[現在のパスフレーズ(Current passphrase)] は空にします。
3. [パスフレーズの変更(Change Passphrase)] をクリックします。

Copyright © 2015 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

第 4 章

設定：画面上のセットアップ アシスタント

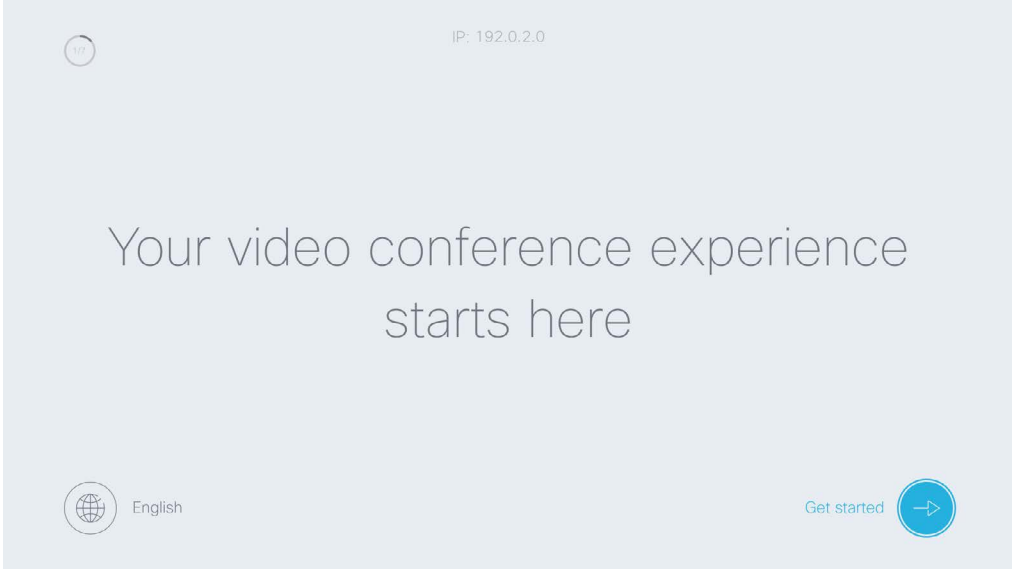
Copyright © 2015 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

リモート コントロールを使用する場合の 画面上のセットアップ アシスタント

システムを初めて起動するときには、セットアップ アシスタントが自動的に起動します。

システムが自動的にプロビジョニングされる場合、IP およびプロビジョニング設定は自動的に設定されます。

リモート コントロールを使用している場合、画面上のセットアップ アシスタントは SX10 および SX20 で利用可能です。



セットアップ アシスタントの開始

ホーム画面の左上隅に移動し、リモート コントロールの *OK* を押します。

[システム情報（System Information）] に移動し、*OK* を押します。[詳細設定（Advanced Settings）] に移動し、*OK* を押します。画面に表示される指示に従います。

システム画面にメニューが表示されない場合：

- モニタが接続されてスイッチがオンになっているか確認してください。
- モニタで正しい入力が選択されていることを確認します。
- リモート コントロールにバッテリが入っていることを確認してください。
- システムのスイッチがオンになっているか確認してください。

システムのスイッチをオンにしたら、システムが起動するまで数分お待ちください。

それでも画面にメニューが表示されない場合は、モニタ ケーブルがビデオ出力コネクタに接続されていることを確認します。ご不明な点がある場合は、製品のインストール ガイドを参照してください。

Copyright © 2015 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

IP の設定(IP settings)

(プロビジョニング システムによって設定されない場合)

IP パラメータをネットワークで自動的に割り当てることも、すべて手動で設定することもできます。システムが自動的にプロビジョニングされる場合、手動の IP 設定はプロビジョニング システムによって上書きされることがあります。

パラメータを手動で設定する場合は、ネットワーク管理者に連絡し、必要なパラメータを取得してください。

IPv4 アドレスがすでにシステムに割り当てられている場合、[システム情報(System Information)] で確認できます。左上隅のユーザ名に移動し、[システム情報(System Infomration)] を選択します。

IP 設定のデフォルトのデュアル スタック設定から IPv4 または IPv6 に変更したい場合は、Web インターフェイスで実行できます。

注:SX10 または SX20 を初めて起動するときには、セットアップ アシスタントが自動的に起動します。ネットワークによってすでに設定されている場合は、セットアップ ウィザードは IP 設定をスキップします。

1. 詳細設定(Advanced Settings)

   左上隅のユーザ名に移動し、[システム情報(System Information)] を選択します。[詳細設定(Advanced Settings)] を選択します。[ネットワーク接続(Network Connection)] に移動し、[ネットワーク設定(Network Settings)] を選択します。

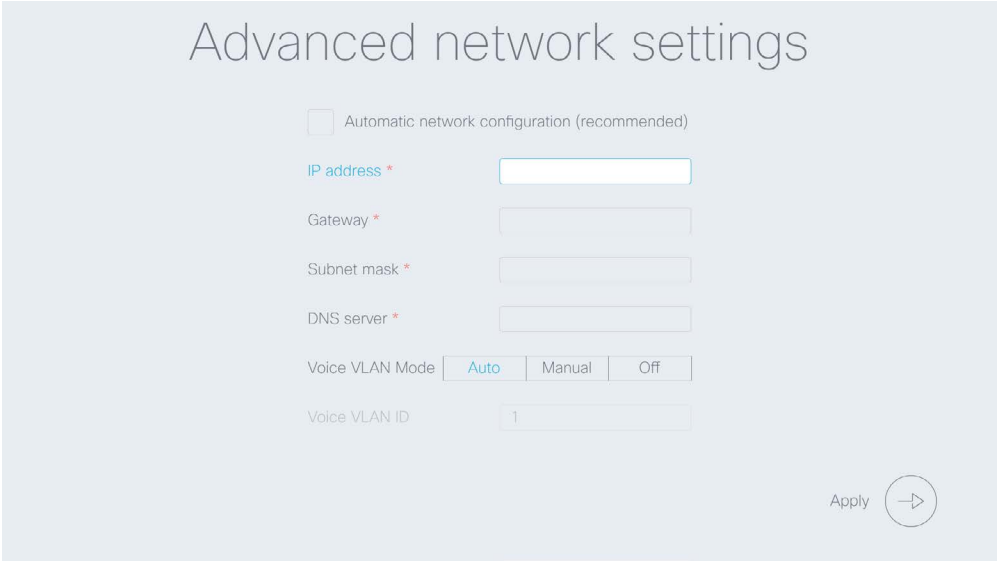
2. 手動の IP 取得方法

   IP アドレスを手動で設定する場合は、チェックボックス [自動ネットワーク構成(Automatic Network Configuration)] をオフにします。

3. IP アドレスの設定

   [IP アドレス(IP Address)]、[サブネット マスク(Subnet Mask)]、および [ゲートウェイ アドレス(Gateway Address)] を入力します。入力フィールドを選択するとソフト キーボードが表示されます。[OK] を選択して変更を確定します。

4. [適用(Apply)] を選択して、変更内容を保存します。



Copyright © 2015 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

プロビジョニング

(プロビジョニング システムの使用時)

システムが自動的にプロビジョニングされる場合、IP およびプロビジョニング設定は自動的に設定されます。セットアップ アシスタントはこれらのステージをスキップします。

詳細設定(Advanced Settings)

左上隅のユーザ名に移動し、[システム情報(System Information)]を選択します。[詳細設定(Advanced Settings)]を選択します。[システム アクティベーション(System Activation)]に移動し、[アクティベーション設定(Activation Settings)]を選択します。

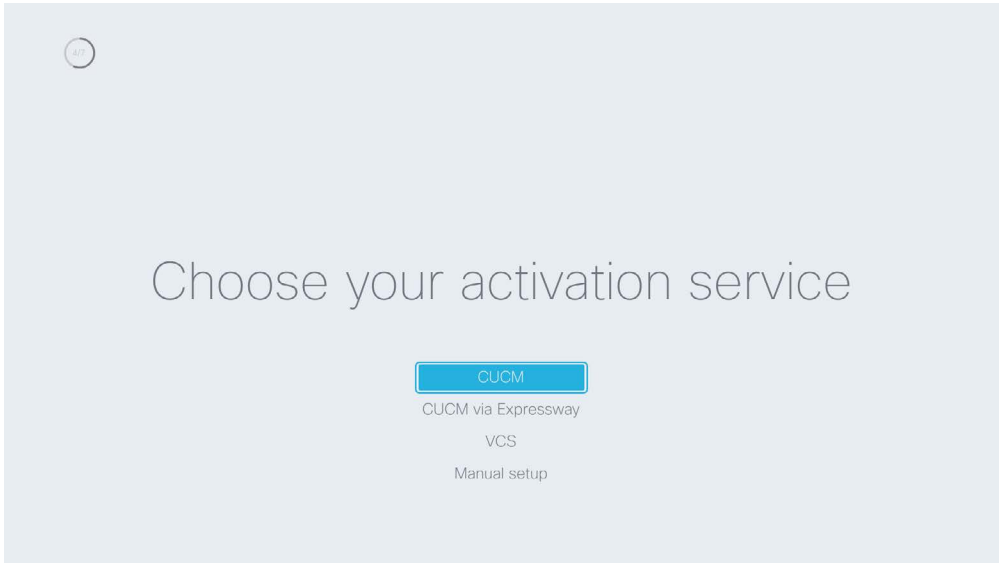
注:SX10 を初めて起動するときには、セットアップ アシスタントが自動的に起動します。

プロビジョニング インフラストラクチャの選択

次のサポートされているプロビジョニング システムのいずれかを選択します。

- CUCM(Cisco Unified Communications Manager)
- Expressway 経由の CUCM
- VCS(Video Communication Server)

手動設定を選択する場合、Web インターフェイスでシステムを登録する必要があります。



Copyright © 2015 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

Cisco Unified Communications Manager

必要な情報を入手するには、CUCM 管理者にお問い合わせください。

IP アドレスまたは DNS 名を [ホスト サーバ アドレス (Host Server Address)] フィールドに入力し、[OK] を選択して変更を確定します。*

CUCM プロビジョニングの設定の詳細については、▸『Administering CE endpoints on CUCM』ガイドを参照してください。

注:SX10 が登録されていることを確認するには、[設定 (Settings)] メニューに移動します。左上隅のユーザ名に移動し、[詳細設定 (Advanced Settings)] を選択します。

Expressway 経由の CUCM

必要な情報を入手するには、CUCM 管理者にお問い合わせください。

該当する入力フィールドに、[ユーザ名 (Username)]、[パスフレーズ (Passphrase)] および [ドメイン (Domain)] を入力します。必ず [OK] を選択して変更を確定します。[適用 (Apply)] を選択して保存します。

場合によっては、手動で Expressway アドレスを入力する必要があります。[Expressway アドレスを手動で上書き (Manually override Expressway address)] を選択し、申し込み時に受け取ったアドレスを [ホスト サーバ アドレス (Host Server Address)] フィールドに入力します。

注:SX10 が登録されていることを確認するには、[設定 (Settings)] メニューに移動します。左上隅のユーザ名に移動し、[詳細設定 (Advanced Settings)] を選択します。

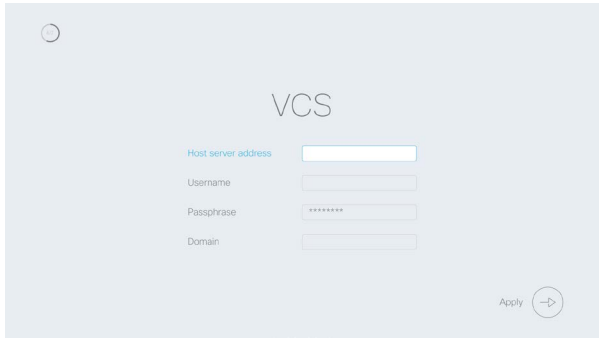
VCS

必要な情報を取得するには、VCS プロバイダーにお問い合わせください。

1. Cisco VCS の IP アドレスまたは DNS 名を [ホスト サーバ アドレス (Host Server Address)] に入力し、[OK] を選択して変更を確定します。
2. 必要な場合、ビデオ システムをプロビジョニング サーバに認証するための [ユーザ名 (Username)] と [パスフレーズ (Passphrase)] を入力します。[OK] を選択して変更を確定します。
3. SIP [ドメイン (Domain)] を入力し、[OK] を選択して変更を確定します。
4. [適用 (Apply)] を選択して、変更内容を保存します。

注:SX10 が登録されていることを確認するには、[設定 (Settings)] メニューに移動します。左上隅のユーザ名に移動し、[詳細設定 (Advanced Settings)] を選択します 。

VCS プロビジョニングの詳細については、付録 ▸「Cisco VCS プロビジョニング」を参照してください。



* DHCP サーバがホスト サーバ アドレスを自動で提供するように設定できます。(DHCP オプション 150)。ここで設定を入力すると、DHCP から提供された設定が上書きされます。

Copyright © 2015 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

第 4 章

設定：タッチ コントローラ

Copyright © 2015 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

タッチ コントローラ

システムの復帰

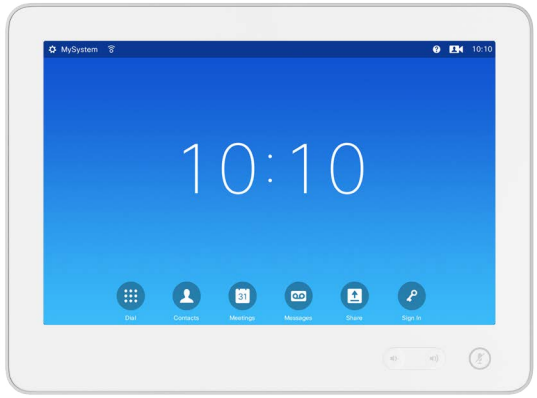
タッチコントローラにメニューが表示されない場合は、画面をタップしてシステムを起動します。

システムが起動しない場合

- タッチ コントローラがメイン ユニットに接続されていることを確認します。
- メイン ユニットが電源に接続されスイッチがオンになっているか確認してください。

システムのスイッチをオンにしたら、システムが起動するまで数分お待ちください。

詳細な説明については、製品のインストール ガイドおよび管理ガイドを参照してください。



タッチ コントローラの機能と使用方法の概要については、▸ タッチ コントローラの使用方法を参照してください。

Copyright © 2015 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

プロビジョニング設定

(プロビジョニング システムの使用時)

プロビジョニング ウィザードの起動

左上隅のユーザ名をタップし、[設定 (Settings)] をタップします。[管理者 (Administrator)] > [プロビジョニング (Provisioning)] をタップし、続けて [開始 (Start)] をタップします。

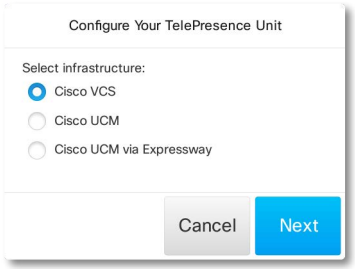
注:タッチ コントローラでシステムを初めて起動するときには、プロビジョニング ウィザードが自動的に起動します。

プロビジョニング インフラストラクチャの選択

次のサポートされているプロビジョニング システムのいずれかを選択します。

- Cisco UCM (Unified Communications Manager)
- Expressway 経由の Cisco UCM
- Cisco VCS (Video Communication Server)

[次へ (Next)] をタップして続行します。

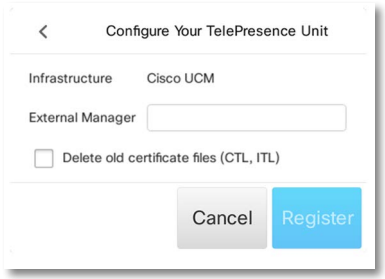


必須パラメータの入力

選択したプロビジョニング インフラストラクチャに必要なパラメータを入力します。続けて [登録 (Register)] をタップし、手順を完了します。

Cisco UCM

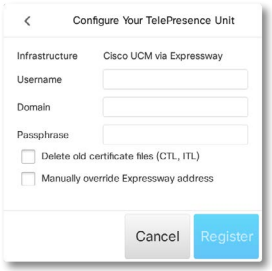
Cisco UCM ([外部マネージャ (External Manager)]) の IP アドレスまたは DNS 名を取得するには、UCM プロバイダーにお問い合わせください。*



Cisco UCM プロビジョニングの設定の詳細については、▸『Administering TC endpoints on CUCM』ガイドを参照してください。

Expressway 経由の Cisco UCM

このサービスに申し込むと、ユーザ名、ドメイン、パスフレーズが送信されます。該当する入力フィールドにこれらを入力します。

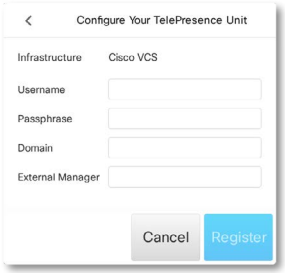


場合によっては、手動で Expressway アドレスを入力する必要があります。[Expressway アドレスを手動で上書き (Manually override Expressway address)] を選択し、申し込み時に受け取ったアドレスを [外部マネージャ (External Manager)] フィールドに入力します。

Cisco VCS

Cisco VCS ([外部マネージャ (External Manager)]) の IP アドレスまたは DNS 名、および SIP の [ドメイン (Domain)] を取得するには、VCS プロバイダーにお問い合わせください。*

必要な場合、ビデオ システムをプロビジョニング サーバで認証するための [ユーザ名 (Username)] と [パスフレーズ (Passphrase)] を設定します。



VCS プロビジョニングの詳細については、付録 ▸「Cisco VCS プロビジョニング」を参照してください。

* DHCP サーバが外部マネージャ アドレスを自動で提供するように設定できます (DHCP オプション 150)。ここで設定を入力すると、DHCP から提供された設定が上書きされます。

Copyright © 2015 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

IP 設定

（プロビジョニング システムによって設定されない場合）

タッチ コントローラで、今後のコール用の IP 設定を選択できます。IP 設定のデフォルトのデュアル スタック設定から IPv4 または IPv6 に変更したい場合は、Web インターフェイスで実行できます。

システムの IP 設定はデフォルトでデュアル スタックに設定されます。これは、ネットワーク インターフェイスが両方の IP バージョンで動作することができ、また、IPv4 アドレスと IPv6 アドレスの両方を同時に持つことを意味しています。

IP パラメータをネットワークで自動的に割り当てることも、すべて手動で設定することもできます。パラメータを手動で設定する場合は、ネットワーク管理者に連絡し、必要なパラメータを取得してください。

システムが自動的にプロビジョニングされる場合、これらの IP 設定はプロビジョニング システムによって上書きされることがあります。

IP 設定をデフォルトに戻すには、左上隅のユーザ名をタップして [設定（Settings）] > [管理者（Administrator）] > [IP と VLAN（IP & VLAN）] をタップし、[デフォルト（Default）] をタップします。

IPv4 または IPv6 アドレスがすでにシステムに割り当てられている場合、[システム情報（System Information）] ページの [ネットワーク（Network）] セクションで確認できます。左上隅のユーザ名をタップして、[設定（Settings）] > [システム情報（System Information）] をタップします。

IPv4 設定の設定または変更

1. **IP バージョンの選択**

   左上隅のユーザ名をタップし、[設定（Settings）] > [管理者（Administrator）] > [IP と VLAN - コーデック（IP & VLAN - Codec）] をタップします。続けて [詳細（Advanced）] をタップします。まだオンになっていない場合は、[IPv4] ボックスをオンにします。

2. **IP 取得方法の自動/手動の選択**

   [IPv4] の隣の矢印（▾）をタップします。IP 割り当てを自動で行いたい場合は [IP 取得方法（IP Assignment）] セクションで [DHCP] をタップし、IP アドレスを手動で設定したい場合は [静的（Static）] をタップします。

3. **[IP 取得方法（IP Assignment）] が [静的（Static）] の場合：IP アドレスの設定**

   [IP アドレス（IP Address）]、[サブネット マスク（Subnet Mask）]、および [ゲートウェイ（Gateway）]、および [DNS サーバのアドレス（DNS Server Address）] を入力します。入力フィールドをタップするとソフト キーボードが表示されます。

4. **設定の保存**

   変更内容を確定するには [保存（Save）] をタップし、保存しないで終了する場合は [元に戻す（Undo）] をタップします。

5. **メイン メニューに戻る**

   [終了（Exit）] をタップして、ホーム メニューに戻ります。

* [IP 取得方法（IP Assignment）]:
[DHCP]：DNS や NTP サーバ アドレスなどのオプションを含むすべての IPv6 アドレスは、DHCPv6 サーバから自動的に取得されます。
[自動（Auto）]：システムおよびゲートウェイの IP アドレスは自動的に割り当てられます。NTP と DNS サーバのアドレスなどのオプションは、[DHCP オプション（DHCP Options）] 設定に応じて設定するか、割り当てる必要があります。**
[静的（Static）]：システムおよびゲートウェイの IP アドレスは手動で設定する必要があります。NTP と DNS サーバのアドレスなどのオプションは、[DHCP オプション（DHCP Options）] 設定に応じて設定するか、割り当てる必要があります。**

IPv6 設定の設定または変更

1. **IP バージョンの選択**

   左上隅のユーザ名をタップし、[設定（Settings）] > [管理者（Administrator）] > [IP と VLAN - コーデック（IP & VLAN - Codec）] をタップします。続けて [詳細（Advanced）] をタップします。まだオンになっていない場合は、[IPv6] ボックスをオンにします。

2. **IP 取得方法の自動/手動の選択**

   [IPv6] の隣の矢印（▾）をタップします。ネットワーク要件に応じて、[IP 取得方法（IP Assignment）] セクションで [DCHP]、[自動（Auto）] または [オフ（Off）] を選択します。*

3. **[IP 取得方法（IP Assignment）] が [静的（Static）] の場合：IP アドレスの設定**

   [IP アドレス（IP Address）] および [ゲートウェイ（Gateway）] を入力します。入力フィールドをタップするとソフト キーボードが表示されます。

4. **[IP 取得方法（IP Assignment）] が [静的（Static）] または [自動（Auto）] の場合：[DHCP オプション（DHCP Options）] の設定**

   ネットワーク要件に応じて、[DHCP オプション（DHCP Options）] セクションで [オン（On）] または [オフ（Off）] をタップします。**

   [DHCP オプション（DHCP Options）] が [オフ（Off）] の場合、Web インターフェイスで DNS サーバおよび NTP サーバを設定する必要があります（「Configure DNS and NTP」、15 ページ を参照してください）。

5. **設定の保存**

   変更内容を確定するには [保存（Save）] をタップし、保存しないで終了する場合は [元に戻す（Undo）] をタップします。

6. **メイン メニューに戻る**

   [終了（Exit）] をタップして、ホーム メニューに戻ります。

** [DHCP オプション（DHCP Options）]:
[オン（On）]：DNS サーバや NTP サーバ アドレスなどの IP パラメータは、DHCPv6 サーバから自動的に取得されます。
[オフ（Off）]：DNS や NTP サーバ アドレスなどの IP パラメータは、手動で設定する必要があります。

Copyright © 2015 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

H.323 および SIP の設定

（プロビジョニング システムによって設定されない場合）

ネットワークに接続してコールを発着信するには、システムを適切に設定する必要があります。システムは、ビデオ通話で H.323 プロトコルまたは SIP プロトコルのいずれかを使用します。

注：ネットワーク設定に関する情報については、システム管理者またはサービス プロバイダーにお問い合わせください。

Cisco TMS（TelePresence Management Suite）により管理されているネットワークの場合、Cisco TMS の管理者がネットワークに接続します。

Cisco UCM を使用する管理方法の詳細については、▸『Administering TC endpoints on CUCM』ガイドを参照してください。

H.323

以下のパラメータについてご不明な点がある場合は、システム管理者またはサービス プロバイダーにお問い合わせください。

1. 左上隅のユーザ名をタップし、[設定（Settings）] > [管理者（Administrator）] > [H323] をタップします。
2. それぞれの入力フィールドに、[H323 番号（H323 Number）] および [H323 ID] を入力します。
3. 該当する入力フィールドに [ゲートキーパー アドレス（Gatekeeper Address）] を入力します。
4. H.323 ゲートキーパーに認証が必要で、システムをゲートキーパーに対して認証させたい場合、[認証モード（Authentication Mode）] セクションで [オン（ON）] をタップし、[ログイン名（Login Name）] および [パスワード（Password）] をそれぞれの入力フィールドに入力します。または、[オフ（OFF）] をタップします。
5. 変更内容を確定するには [保存（Save）] をタップし、保存しないで終了する場合は [元に戻す（Undo）] をタップします。
6. [システム情報（System Information）] ページを確認し、[H323] 設定を確認します。

   ゲートキーパーに正常に登録されると、[H323] セクションの [ステータス（Status）] は [登録済み（Registered）] と表示されます。
7. [終了（Exit）] をタップして、ホーム メニューに戻ります。

SIP

以下のパラメータについてご不明な点がある場合は、システム管理者またはサービス プロバイダーにお問い合わせください。

1. 左上隅のユーザ名をタップし、[設定（Settings）] > [管理者（Administrator）] > [SIP] をタップします。
2. [URI] 入力フィールドに SIP URI を入力します。
3. [デフォルト トランスポート（Default Transport）] セクションで、使用したいトランスポート プロトコルをタップします。[自動（Auto）] を選択すると、システムは TLS、TCP、UDP の順に接続を試みます。
4. - または + 記号をタップして、[プロキシ タイプ（Proxy Type）] を選択します。デフォルト タイプは [標準（Standard）] です。CUCM への登録時には [Cisco] を使用できます。
5. 該当する入力フィールドに [プロキシ アドレス（Proxy Address）] を入力します。
6. SIP プロキシ サーバに認証が必要な場合、システムを認証するために [ログイン名（Login Name）] と [パスワード（Password）] をそれぞれの入力フィールドに入力する必要があります。
7. 変更内容を確定するには [保存（Save）] をタップし、保存しないで終了する場合は [元に戻す（Undo）] をタップします。
8. [システム情報（System Information）] ページを確認し、[SIP] 設定を確認します。

   SIP サーバに正常に登録されると、[SIP] セクションの [ステータス（Status）] は [登録済み（Registered）] と表示されます。
9. [終了（Exit）] をタップして、ホーム メニューに戻ります。

Copyright © 2015 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

日時と場所

(プロビジョニング システムによって設定されない場合)

ビデオ会議システムを設定する際には、日時が正しく設定されていることを確認することをお薦めします。これらの情報は、たとえばゲートキーパーなどのネットワーク要素に送信されるメッセージにタイム スタンプを追加するために使用されます。

タッチ コントローラの画面の右上隅で時間を確認できます。

1. 左上隅のユーザ名をタップし、[設定 (Settings)] > [管理者 (Administrator)] > [日時と場所 (Date, Time & Location)] をタップします。
2. [24h] または [12h] をタップして、使用したい [時間フォーマット (Time Format)] を選択します。
3. [dd.mm.yy]、[mm.dd.yy] または [yy.mm.dd] をタップし、使用したい [日付形式 (Date Format)] を選択します。
4. システムの [タイム ゾーンのエリア (Time Zone Area)] および [タイム ゾーンの場所 (Time Zone Location)] を選択します。- または + 記号をタップして、利用可能なゾーンの一覧を確認します。
5. 時間と日付を定期的に更新したい場合は、[日付と時刻モード (Date & Time Mode)] を [自動 (Auto)] に設定します。そうでなければ、[手動 (Manual)] を選択します。
   a. [手動 (Manual)] を選択する場合は、[時 (Hour)]、[分 (Minute)]、[年 (Year)]、[月 (Month)] および [日 (Day)] に正しい値を入力します。- または + 記号をタップすることにより、値を増加または減少させます。
   b. [自動 (Auto)] を選択すると、NTP サーバ アドレスをネットワークから自動的に取得することができます ([NTP モード (NTP Mode)] を [自動 (Auto)] に設定)。または、[NTP サーバ (NTP Server)] アドレスを自分で入力することもできます ([NTP モード (NTP Mode)] を [手動 (Manual)] に設定)。
6. 変更内容を確定するには [保存 (Save)] をタップし、保存しないで終了する場合は [元に戻す (Undo)] をタップします。
7. [終了 (Exit)] をタップして、ホーム メニューに戻ります。

Copyright © 2015 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

付録

Copyright © 2015 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

Cisco VCS プロビジョニング

Cisco VCS（Video Communication Server）プロビジョニングを使用する場合、Cisco TMS（TelePresence Management System）に、プロビジョニング可能なすべての設定が含まれているテンプレートをアップロードする必要があります。これは *Cisco TMS プロビジョニング設定テンプレート*と呼ばれます。

このテンプレートには、ビデオ システムの詳細設定がすべて含まれています。[システムユニット名（SystemUnit Name）] と [SIPプロファイル[1..1]URI（SIP Profile [1..1] URI）] を除すべての設定をビデオ システムに自動的にプロビジョニングできます。

詳細設定は、ビデオシステムの管理者ガイドで説明されています。

Cisco TMS へのファイルのアップロード方法や、プロビジョニングするパラメータの希望値の設定方法については、『Cisco TMS Provisioning Deployment Guide』を参照してください。Cisco TMS で設定しない場合は、デフォルト値が使用されます。URL：
▸ http://www.cisco.com/c/en/us/support/conferencing/telepresence-management-suite-tms/products-installation-and-configuration-guides-list.html

プロビジョニング設定テンプレートのダウンロード

次の URL からテンプレートをダウンロードできます。

MX シリーズ：▸『MX シリーズ リリース ノート』

SX シリーズ：▸『SX シリーズ リリース ノート』

ソフトウェア リリースごとに、すべてのビデオ システム モデル用のプロビジョニング設定テンプレートが用意されています。該当するファイルをご確認の上、ダウンロードしてください。

Copyright © 2015 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

シスコ Web サイト内のユーザ ドキュメント

Cisco TelePresence 製品のユーザ ドキュメントは、次の URL で利用可能です。

- http://www.cisco.com/go/telepresence/docs

お使いの製品が見つかるまで、右ペインの製品カテゴリを選択する必要があります。以下の順にパスをたどってください。

[コラボレーション ルーム エンドポイント (Collaboration Room Endpoints)] >

Cisco TelePresence MX シリーズ

TelePresence 統合ソリューション >

Cisco TelePresence SX シリーズ

また、ドキュメントを検索するために次の短いリンクを使用できます。

- http://www.cisco.com/go/mx-docs
- http://www.cisco.com/go/sx-docs

ドキュメントは、次のカテゴリに編成されます。

インストールとアップグレード > インストールとアップグレード ガイド

- 『インストレーション ガイド』:製品のインストール方法
- 『スタートアップ ガイド』:システムを稼働させるために必要な初期設定
- 『RCSI ガイド』:法令準拠および安全上の注意ガイド

保守と運用 > メンテナンスとオペレーション ガイド

- 『スタートアップ ガイド』:システムを稼働させるために必要な初期設定
- 『管理者ガイド』:製品の管理に必要な情報
- 『CUCM での CE エンドポイントの管理』:製品を Cisco Unified Communications Manager (CUCM) とともに使用開始するために実行するタスク

保守と運用 > エンドユーザ ガイド

- 『ユーザ ガイド』:製品の使用方法
- 『クイック リファレンス ガイド』:製品の使用方法
- 『物理インターフェイス ガイド』:コネクタ パネルと LED を含む製品の物理インターフェイスに関する詳細。

リファレンス ガイド | コマンド リファレンス

- 『API リファレンス ガイド』:アプリケーション プログラミング インターフェイス (API) のリファレンス ガイド

リファレンス ガイド > テクニカル リファレンス

- 『CAD 図面』:寸法が記載された 2D CAD 図面

設計 > 設計ガイド

- 『ビデオ会議室ガイド』:会議室の設計とベスト プラクティスに関する一般的なガイドライン
- 『ビデオ会議室ガイド』:認識される音声の品質を向上させるために行うべきこと

ソフトウェア ダウンロード、リリースと一般情報 > ライセンス情報

- 『オープン ソース ドキュメント』:この製品で使用されているオープン ソース ソフトウェアのライセンスおよび通知

ソフトウェア ダウンロード、リリースと一般情報 > リリース ノート

- ソフトウェア リリース ノート

Copyright © 2015 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

Intellectual property rights

このマニュアルに記載されている仕様および製品に関する情報は、予告なしに変更されることがあります。このマニュアルに記載されている表現、情報、および推奨事項は、すべて正確であると考えていますが、明示的であれ黙示的であれ、一切の保証の責任を負わないものとします。このマニュアルに記載されている製品の使用は、すべてユーザ側の責任になります。

対象製品のソフトウェア ライセンスおよび限定保証は、製品に添付された『Information Packet』に記載されています。添付されていない場合には、代理店にご連絡ください。

シスコによる CEP ヘッダー圧縮の実装には、カリフォルニア大学バークレー校（UCB）が UNIX オペレーティング システムの UCB パブリック ドメイン バージョンの一部として開発したプログラムを使用しています。All rights reserved. Copyright © 1981, Regents of the University of California.

ここに記載されている他のいかなる保証にもよらず、各社のすべてのマニュアルおよびソフトウェアは、障害も含めて「現状のまま」として提供されます。シスコおよびこれら各社は、商品性の保証、特定目的への準拠の保証、および権利を侵害しないことに関する保証、あるいは取引過程、使用、取引慣行によって発生する保証をはじめとする、明示されたまたは黙示された一切の保証の責任を負わないものとします。

いかなる場合においても、シスコおよびその供給者は、このマニュアルの使用または使用できないことによって発生する利益の損失やデータの損傷をはじめとする、間接的、派生的、偶発的、あるいは特殊な損害について、あらゆる可能性がシスコまたはその供給者に知らされていても、それらに対する責任を一切負わないものとします。

このマニュアルで使用している IP アドレスおよび電話番号は、実際のアドレスおよび電話番号を示すものではありません。マニュアル内の例、コマンド出力、ネットワーク トポロジ図、およびその他の図は、説明のみを目的として使用されています。説明の中に実際のアドレスおよび電話番号が使用されていたとしても、それは意図的なものではなく、偶然の一致によるものです。

ハード コピーおよびソフト コピーの複製は公式版とみなされません。最新版はオンライン版を参照してください。

シスコは世界各国 200 箇所にオフィスを開設しています。各オフィスの住所、電話番号、FAX 番号は当社の Web サイト（www.cisco.com/go/offices）をご覧ください。

Cisco および Cisco ロゴは、シス コ またはその関連会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。シス コの商標の一覧は、次の URL からご確認 く だ さい。www.cisco.com/go/trademarks 掲載されている第三者の商標はそれぞれの権利者の財産です。「パー ト ナー」または「partner」という用語の使用は Cisco と他社との間のパー ト ナーシ ッ プ関係を意味する ものではあ り ません。（1110R）

シスコのお問い合わせ先

シスコの Web サイトでは、シスコの世界各地のお問い合わせ先を確認できます。

URL：▸ http://www.cisco.com/web/siteassets/contacts

Corporate Headquarters:

Cisco Systems, Inc.

170 West Tasman Dr.

San Jose, CA 95134 USA

Copyright © 2015 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.